

講義は15回で進行するが、明るいアジアを語ってもらい講座に重きをおくため、その中で優秀な学生10名に奨学金を出し、日本の学生やアジアの留学している仲間と交流させたい。

可能であれば、人文学院のホームページを使って交流会などは世界に配信し、その内容が広まる工夫と研究を行い実行する。

授業計画（予定）：日程はあくまでも暫定的な予定です。

2015年

01. 「ワンアジアにおける記憶・想起を考える」
プログラムマネージャー 李 文哲（煙台大学）
02. 「いまなぜワンアジアなのか」
特別講演 鄭 俊坤（ワンアジア財団）
03. 「いま〈アジア〉をどう語るか」
李 成市（早稲田大学）
04. 「詩にみるアジアの普遍性と特殊性」
趙 強石（仁荷大学）
05. 「朝鮮中華主義の成立とアジア共同体」
禹 景燮（仁荷大学）
06. 「問題と和解—アジア民族問題の解決のために」
王 希恩（中国社会科学院）
07. 「出稼ぎ労働者から見る社会弱者問題」
潘 澤泉（中南大学）
08. 「人文学からワンアジアの可能性を考える」
朴 銀姫（魯東大学）
09. 「民族関係から見るアジア秩序」
崔 明德（煙台大学）
10. 「唐代におけるアジアのイメージ」
蘭 翠（煙台大学）
11. 「現代教育とアジア共同体」
趙 文静（煙台大学）
12. 「メディア表象におけるアジア」

- 齊 愛軍 (煙台大学)
13. 「アジア共同体と中国民族思想」
馬 曉麗 (煙台大学)
14. 「アジア共同体構築における大学間交流の意味」
張 西俊 (煙台大学国際交流部部長)
15. 総括◎ 佐藤 洋治 (ワンアジア財団理事長)
「ワンアジアへの道」
座談会◎ 「アジア共同体の構築をどう考えているのか？」

中国煙台大学 李文哲

2015.01.12